

ジブチ月例報告 (2024年6月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

● 6月27日、ゲレ大統領はジブチ共和国独立47周年にあたり、テレビを通じ国民へのスピーチを実施。スピーチの中で、「6月27日はすべてのジブチ国民が国旗の下で愛国心を表現する、国民的団結の日である」と強調した。また、この日が国の解放のための闘いの頂点であり、経済発展の出発点でもあることを想起しつつ、ジブチ人が自らの手で運命を切り開いたその日以来、教育と保健への普遍的なアクセスを通じて、包括的な発展のプロセスが動き出したと述べ、ジブチは平和、進歩、安定の安息地となったと付け加えた。

【外政】

● 6月7日、オマール労働大臣率いるジブチ代表団は、スイス・ジュネーブで開催された国際労働機関（ILO）の第112会期に参加。同会合は6月3日から14日まで開催され、国際労働機関（ILO）加盟187カ国の代表が一堂に会し、労働と社会正義に関する見解を交換し、世界的な政策を策定するためのユニークなプラットフォームを提供することを目的としている。

● 6月16日、ゲレ大統領はカドラ夫人とともに、イード・アル＝アドハ犠牲祭に伴うレセプションを開催。ゲレ大統領は挨拶の中で、スーダンの内戦を含む域内の不安定な情勢について言及。「スーダンの平和と安定のために常に努力するというジブチの基本原則を再確認し、IGAD議長国としてこの危機の解決を優先事項とし献身する」と述べた。

● 6月19日、ゲレ大統領は、ハッサン・ソマリア連邦共和国大統領を大統領宮殿で迎えた。会談では、二国間関係と両国及び両国民の協力関係について話し合わせ、議論は両国間のより高いレベルの交流の実現にまで及んだ。

● 6月21日、ユスフ外務・国際協力大臣はオンラインで開催されたアフリカ連合の平和安全保障理事会の会合に参加。スーダン共和国情勢に関するアフリカ連合委員会委員長の報告を中心とした討議が行われ、この重要地域における最新の情勢と、平和と安全を確保するための措置について検討が行われた。

● 6月24日、ゲレ大統領は、エチオピア連邦民主共和国のTaye Atske Selassie 新外務大臣を迎えた。同大臣のジブチ訪問は、経済・商業交流、物流・トランジット、電力・水の相互接続等、様々な分野で地域的・大陸的規模の相乗的補完性を有する両国と両国民の友好、交流、協力関係の強化を目的に行われた。

【経済・開発】

- 6月4日、サウジアラビア商工会議所の Hassan Ibn Mouagam Al-Hwuiyzi 会頭率いるサウジアラビアの実業家代表団がゲレ大統領を表敬訪問。会談の中で、ゲレ大統領は、経済パートナーシップを成功させるために、実行可能な投資ポテンシャルと高度に近代的なインフラによる物流サービスを組み合わせたジブチの総合的なアプローチについて説明を行った。
- 6月4日、バードン首相代行兼法務・刑務大臣は、アイラ・ホテルにおいてジブチとサウジアラビア間の経済交流の発展に向けたハイレベル・フォーラムを主宰。同イベントは、ジブチ商工会議所がジブチ港湾・フリーゾーン庁（DPZFA）及びサウジアラビア商工会議所と共催したもので、サウジアラビアの大規模な経済事業者代表団が参加。
- 6月10日、Great Horn Investment Holding は、ダメルジョグ工業団地（DDIP）内の17万平方メートルの土地のリース契約を Petroleum Services Company FZCO との間で締結。調印式には、Diya-Eddin Bamakrama 駐ジブチ・サウジアラビア大使が立会った。
- 6月18日、アブドゥルカデル首相の後援の下、第2回 FinTech フォーラムが開催され、ラドワン通信大臣やディレイタ国民議会議長ら政府関係者が出席。このフォーラムは、ジブチの経済・社会発展における金融技術の促進とジブチのデジタル変革への積極的な参加を促すこと目的としている。
- 6月23日、ハッサン・インフラ・設備大臣は、イリヤス経済・財政大臣及びハッサン内務大臣とともにジブチ市の都市道路インフラの診断調査と統合道路網のマスタープランの設計に関するワークショップの議長を務めた。アフリカ開発銀行が資金を提供したこの調査は、流動的で持続可能な都市道路網の再建を計画・開始するために必要な技術的基盤を確立することを重視している。
- 6月30日、ヨニス・エネルギー大臣は、Ahmed Shide エチオピア経済・金融大臣の表敬を受けた。会談では、ジブチからエチオピアへの石油製品供給量の増加の手段について話し合いが行われ、ジブチのホライゾン石油備蓄基地の維持管理スケジュールを設定することで合意。

【保健・衛生・社会】

- 6月3日、2024年度の全ての一般教育、職業教育分野におけるバカロレア筆記試験が開始され、今年は9,150人以上が受験者として登録されている。

【軍事・治安】

- 6月6日、ジブチ国軍創設47周年記念式典を開催。同式典には、バードン首相代行兼法務・刑務大臣、ブルハン国防大臣、ザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長の他、ジブチ国防・治安部隊の司令官、モロッコ、エチオピア、ソマリアからの軍事代表団らが出

席。

● 6月10日、ハッサン内務大臣は、仏欧州・外務省安全保障・防衛協力局長を務める Regis Colcombet 陸軍中将の表敬を受け、地域の安全保障に関する主要なイニシアチブについて意見交換を実施。Colcombet 局長のジブチ訪問は、地域規模のプロジェクトである国際市民保護学校の立ち上げの一環であり、この新しい機関は、市民保護局の庇護の下、Nagad に設置される予定となっている。

● 6月25日、ロシア国防省よりザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長に対する軍事同盟勲章の授与が行われた。

【日本関係】

● 6月3日、大島臨時代理大使は、日本が世界銀行日本社会開発基金を通じて支援をしている「ジェンダーに基づく暴力に対する女性とコミュニティのレジリエンス強化」プロジェクトのワークショップへ参加。このプロジェクトは、学校からドロップアウトした女性への職業訓練と生活支援や、男性も含めたコミュニティ全体に対するジェンダーに基づく暴力防止のための啓発活動により、女性の経済的自立が促進することを目的としている。

● 6月19日、大島臨時代理大使は、ジブチ自衛隊拠点における T J N O (Transportation of Japanese Nationals Overseas : 邦人輸送) 訓練を視察。

● 6月24日、原大使はダメルジョグ工業地域で行われたサウジアラビアの石油会社の精油所起工式に参加。

● 6月27日、原大使はジブチ共和国の独立47周年祝賀行事に参加。

(了)